

定例公安委員会の開催状況について

令和8年4月23日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和8年度警察官・警察行政職等採用試験の概要等について

令和8年度警察官・警察行政職等採用試験の概要等について報告があった。

委員から、サイバー捜査官、心理カウンセラー等、今の時代に合った募集活動を行っている。優秀な人材を確保するよう募集活動を展開していただきたい旨の発言があった。

委員から、先々をシミュレーションしながら、採用戦略を考え、募集活動に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、警察に興味のある方を見逃さず、積極的に声を掛け、様々な分野から優秀な人材を確保していただきたい旨の発言があった。

(2) 児童生徒への性暴力事案防止研修の実施について

児童生徒への性暴力事案防止研修の実施について報告があった。

委員から、研修対象を管理職から幅を広げるほか、児童生徒に対する啓発も行っていたいただきたい旨の発言があった。

委員から、学校を舞台にした盗撮は、山形県でも発生しており、今後も継続して取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、教職員と少年補導専門官等による盗撮防止に繋がる校内の一斉点検等、抑止効果が期待できる取組みを考えてほしい旨の発言があった。

(3) 山形県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーの委嘱について

山形県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーの委嘱について報告があった。

委員から、今年は大学教授等のほかに、専門知識を有する民間事業者からもテクニカルアドバイザーを選考しており、県警察の意欲を感じる旨の発言があったほか、有意義なアドバイスをもらい、サイバー犯罪対策に繋げてほしい旨の発言があった。

委員から、数年前はデジタル化推進であったものがAI犯罪対応へと時代が変化しているため、県警察自体のセキュリティについても対策をすすめていただきたい旨の発言があった。

委員から、アドバイザーからサイバー犯罪捜査等で必要なアドバイスを受け、捜査手法等について、確かなものを作っていただきたい旨の発言があった。

(4) 「自転車月間」の実施について

「自転車月間」の実施について報告があった。

委員から、自転車の乗り方のほか、電動キックボード、モペット等のモビリティについてもわかりやすく整理して広報啓発していただきたい旨の発言があった。

委員から、自転車に対する交通反則制度の適用で県民の関心も高くなっている。広報啓発、指導取締りを通じ、自転車利用者のマナー向上につなげていただきたい旨の発言があった。

委員から、自転車走行のルールは、横断歩道の通行をみても単純ではないので、ルールを周知させるため、クイズ形式で教えるなど創意工夫していただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

○ 運転免許行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞の結果について説明を受け、決定した。

○ 援助の要求について

警察本部から、愛媛県公安委員会からの援助の要求について報告があった。